

“お宝”いっぱい 地域活性術

第5回全国地域づくりサミットin三好
& お宝探しツーリズム

2013年7月6日(土)～7日(日)
池田総合体育館(徳島県三好市池田町)

- 主催 いけだスポーツクラブ、クラブリンク JAPAN
異分野交流「銀河の会」
- 主管 いけだスポーツクラブ
- 後援 徳島県三好市、三好市教育委員会
徳島県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会
- 協賛 株式会社クラブリンクマネジメント

【開催要項】

■開催日	2013年7月6日(土)～7日(日)
■開催場所	徳島県三好市池田町マチ 2551-1 三好市池田総合体育館
■参加者	地域づくり関係者、総合型地域スポーツクラブ、その他、参加は自由
■定員	300人
■参加費(昼食付)	1人:一般4,000円、クラブリンク加盟クラブ3,000円、三好市民1,000円
■情報交換会	1人5,250円
■ツーリズム(昼食付)	1人2,880円
■問い合わせ	いけだスポーツクラブ TEL:0883-72-5755 FAX:0883-72-5765 メール:ikesupo@cn05.awaikeda.net
■参加申し込み	(有)フジヤマトラベル TEL:0883-72-3800 FAX:0883-72-3810

【プログラム】

■第1日(6日)

※事情により、テーマ等の一部が変更になる場合があります。

時間	内容	テーマ	講師・発表者等(敬称略)
8:30～8:50	開会式		
8:50～9:50	<第1部> 基調講演	「人を育てるスポーツ、地域づくり」	川上 英樹 (新潟:スポーツコーチーズネット長岡幹事長)
9:50～11:10	ワークショップ	「新時代の地域スポーツマネジメント」 ～総合型クラブが目指すもの～	全国の総合型地域スポーツクラブ
11:20～12:10	<第2部> 講演Ⅰ	「地域資源の活用術」 ～クールな田舎をプロデュース～	山田 拓 (岐阜:美ら地球社長)
12:10～13:10	昼食休憩	三好うまいもん市場でお食事を!	エキシビジョン:正調阿波踊りと三味線流し
13:10～14:10	講演Ⅱ	「地域の活性術」 ～公募社長の夢と戦略～	鳥塚 亮 (千葉:いすみ鉄道社長)
14:20～15:20	講演Ⅲ	「分権時代のまちづくり」	北川 正恭 (早稲田大学公共経営大学院教授)
15:35～16:25	地域活動報告 (各25分)	「高校生たちが担う地域づくり」 ～若いアイデアが生んだヒット商品～	徳島県的美馬商業高校、三好高校
16:40～18:00	シンポジウム	「地域のお宝 どう生かす」	■コーディネーター 浜田 靖彦(東京:元気なまち協創日本代表理事) ■パネリスト 俵 徹太郎(三好市長) 川上 英樹、鳥塚 亮、山田 拓 美馬商業高校、三好高校
19:00～21:00	情報交換会	吉野川ハイウェイオアシス	

■第2日(7日)

9:30～12:00	お宝探しツーリズム	落合集落(伝統的建造物群保存地区・旧東祖谷山村) 奥祖谷二重かずら橋、大歩危峡
12:00～13:00	地域のもてなし昼食	いやしの温泉郷

<講師プロフィール>

■川上 英樹（かわかみ・ひでき） 「スポーツコーチーズネット長岡」 幹事長

1993年4月から長岡市職員となり、2004年10月の新潟県中越地震以降、災害からの復旧・復興業務に携わり、11年4月から公益財団法人山の暮らし再生機構ディレクター（長岡市から派遣）。公務の傍ら、スポーツの文化的価値向上に寄与するための活動を実践。同年12月にスポーツによる地域活性化に向けた実践者によるネットワーク組織「スポーツコーチーズネット長岡」を設立、幹事長を務める。総合型地域スポーツクラブ「長岡蒼柴スポーツクラブ」テニスアカデミープロデューサー・ヘッドコーチ、新潟県テニス協会国体副委員長、公益財団法人日本体育協会テニス上級コーチ、ヨネックス株式会社アドバイザースタッフ、日本テニス協会11年度コーチ・オブ・ザ・イヤー受賞。

■山田 拓（やまだ・たく） 「株式会社美ら地球」 代表取締役社長

コンサルタント会社を退職後、世界放浪の旅に出て、地域資源や自然資源を活かした世界各国のツーリズム先進地で様々な旅行関連サービスの事例を学ぶ。07年、「クールな田舎をプロデュースする」企業として、株式会社美ら地球を岐阜県飛騨市に設立。地域資源を活かしたソーシャル・ツーリズムビジネスの創出を目指し、飛騨地域の地域資源の保全・啓蒙、交流産業としての商品企画・運営を総合的に進める取り組みを行っている。

飛騨市を中心に点在する古民家約1000軒超を調査。過疎化で危機に陥っている伝統民家の実態を解明する活動や、「飛騨里山サイクリング」で地域の人との交流を主眼に置いたガイドツアーを運営。11年春、環境省主催「五感で楽しむまち大賞」で環境大臣賞を受賞した。さらに、古民家の利活用策を推進し、貸家としての運営を目指した実証化事業などを実施している。現在、観光協会、自治体等向けに観光基本計画策定、市場調査、インバウンド推進、観光サービス開発支援等の事業を展開している。飛騨市観光協会アドバイザー（07-09年）。国際グリーンツーリズムアドバイザー（07年～）。

■鳥塚 亮（とりづか・あきら） 「いすみ鉄道株式会社」 代表取締役社長

大韓航空、ブリティッシュエアウェイズ旅客運航部長などを経て、2009年に赤字経営が続いていた「いすみ鉄道」の社長公募に応募し、代表取締役社長に就任。鉄道再生に取り組む。

ムーミンをあしらった列車の運行や、社会人を対象にした運転手の募集を行い、訓練費700万円の自己負担を条件に列車運転免許を取得できるという運転士の養成、サポーター・オーナー制度、駅名命名権（ネーミングライツ）の実施など多彩なアイデアで経営改善を図っている。

ムーミン列車の導入により、若い女性や子供連れが増え、沿線の活性化にもつながっている。いすみ鉄道が地域の広告塔となり、知名度を全国版にする話題づくりに務め、地域のイベントにも積極的に参加し、地域と連携した「まちおこし」の一翼を担っている。

■北川 正恭（きたがわ・まさやす） 早稲田大学公共経営大学院教授

三重県議会議員3期連続、衆議院議員4期連続、1995年に三重県知事に当選し、「生活者起点」を掲げ、ゼロベースで事業を評価し、改革を進める「事業評価システム」や情報公開を積極的に進め、地方分権の旗手として活動。達成目標、手段、財源を住民に約束する「マニフェスト」を提言した。県知事を2期務め、2003年4月に退任した。「新しい日本をつくる国民会議」（21世紀臨調）代表。平成21年地域主権戦略会議構成員。

著書に、生活者起点の「行政革命」（出版：株ぎょうせい）、マニフェスト革命～自立した地方政府をつくるために～（出版：株ぎょうせい、06年11月）、マニフェスト進化論（出版：生産性出版、07年1月）。